

○令和7年11月5日 経済委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

経済委員会では、今年度のテーマを「中小企業の持続的な経営発展に向けた支援について」、「高松空港を核とした地域経済の活性化について」及び「資源循環型農業の推進について」と定めており、今回4カ所の現地視察を行いました。

まず、株式会社北四国グラビア印刷（観音寺市栗井町）を訪問し、事業継続計画に沿った避難所体制の構築や、被災時の機材優先稼働判断に備えたリスト化、県外同業他社との災害時委託契約による供給体制の確保等の取組について説明を受け、質疑を行いました。



次に、株式会社中大（観音寺市大野原町）を訪問し、野菜調整施設や肥料庫、レタス圃場等を視察し、地元畜産農家の堆肥や有機質ペレット肥料を使用した土づくり等の資源循環型農業の概要や経営改善の取組等について説明を受け、質疑を行いました。



次に、琴弾公園（観音寺市有明町）を訪問し、インバウンドを見据えた情報発信や地元と連携したイベントの開催、公園を起点とした周遊観光の取組について説明を受け、質疑を行いました。



最後に、瀬戸内国際芸術祭2025（宇多津エリア）を訪問し、現代アートの祭典の開催による国内外からの誘客の取組について説明を受けながら、作品展示の状況を視察しました。

